

クラス番号	349	担当教員名	増井 香名子
		他専修学生受入上限人数	1名
テーマ	人が安全・安心に生きるための社会や支援のあり方について		
著書・論文 研究課題等	<p>【著書・論文】</p> <ul style="list-style-type: none"> 『DV 被害からの離脱・回復を支援する～被害者の「語り」にみる経験プロセス～』(2019) ミネルヴァ書房. 「母子生活支援施設における職員研修の実践とその効果～暴力被害等を経験した子どもと母への支援力向上に向けて～」(2020)『社会問題研究』第 68 巻. ・増井香名子・岩本華子 (2022) 「DV 被害者である親が経験する子育ての実態～当事者インタビューの分析から児童福祉実践への示唆～」『社会福祉学』, 62(4),72-85 <p>【研究課題】</p> <p>DV 被害者とその子どもの支援を考える研究をしています。インタビュー調査等の分析から当事者や支援者の経験を明らかにし、より良き支援とは何かを考えています。また、支援者育成に関心があり、多くの自治体や母子生活支援施設で支援者向けの研修講師をしています。</p>		

ゼミナール概要

キーワード：安全・安心を脅かす社会状況、子ども、家族、女性、ひとり親、児童虐待、暴力、子育て、ソーシャルワーク、支援者、心理的支援

- 【目的】
- ①人と人との安全・安心な関係を理解し、安全・安心を基盤に生きる力を身につける。
 - ②ソーシャルワーカーとして、ソーシャルワーク実践の基礎力を身につける。
 - ③卒業論文作成を通して、社会問題を多角的に考察し、書く力を身につける。

【内容】

人は誰も安全・安心に生きていく権利を持っています。しかし、現実には、児童虐待や DV など家庭内での虐待、女性への暴力、子どもや母子家庭の貧困など多くの人や子どもの安全・安心を脅かす社会状況があります。それらの実態を知るとともに、ソーシャルワークや社会がどうあるべきかを掘り下げて考えていきます。

【方法】

まず、安全・安心が脅かされる社会状況やジェンダー課題について広くメンバーの関心を高めるとともに、ソーシャルワークや心理的支援の実際や方策について学びます。また、必要に応じて、外部からゲストスピーカーをきてもらい支援者や支援現場を知る機会を設けたいと思います。それらの経験から自身の関心を絞り、既に明らかになっていることを整理し、どのように知るかを考え、卒業論文を作成します。

- 【授業計画】
- 3 年生前半：講義とワークを取り入れ安全・安心を脅かす社会状況について関心を高め、前期の最後にはそれぞれのゼミ生が関心のあるテーマについて発表します。
 - 3 年生後半：関心のあるテーマについてさらに深く調べ、レポートにまとめます。また、研究方法を学びます。
 - 4 年生前半：卒業論文の作成に取り組みます。
 - 4 年生後半：卒業論文の完成をし、国家試験対策に取り組みます。
- *希望者が多ければ、関西福祉ツアーを実施します！（2023 年度は、夏季ゼミ IN 京都を実施しました）

担当教員からのメッセージ

○自己紹介：自治体の社会福祉職として、児童福祉・女性福祉・障害福祉分野等で広く実践してきました。実践を通して「人は安全・安心に生きる権利がある」、そして「それを実現するには福祉や支援はどうあるべきか」を考えてきました。社会福祉士・精神保健福祉士・公認心理師の国家資格を持っています。

○エントリーシート：以下について記載してください。

- ①関心を持っている福祉分野や社会問題、②現時点での希望進路、③自分のいいところ・強み、④ゼミ希望理由

○ゼミについて：卒業後は福祉の仕事につきたい、社会福祉士等国家資格取得を目指しているという人を歓迎します。社会に出る前の貴重な2年間です。皆さんとともによく学んだと思えるゼミにしていきたいと思います。休まず出席し、積極的に取り組もうとする意欲ある学生を求めます。

皆さんは増井ゼミ4期生になります。メンバーが成長しあえる楽しいゼミを一緒に作っていきましょう！